

# 農繁期

## レポート

令和元年 4-5月号

# 栄ファーム

オーナー  
水田面積  
保証量  
形態品種

栄運輸工業株式会社  
18.4アール  
玄米828kg  
特別栽培コシヒカリ



## 生産者

三上惇二さん



例年より早い雪解けに晴天続きで川の水は日に日に少なくなってきましたが、細屋集落は川の上流のため、少ないながらも水には困りませんでした。田植えも無事に終わり、さらに晴天が続き生長もそこそこ良いですが、やはり植物には恵の雨も必要で時々葉っぱを雨に濡らすとより良い生長をします。そのため今後は適度に雨が降るのを願うばかりです。また天気の良い時には農家はできる限りの仕事をしますので雨は稲にも人にも大切です。

田植え前の準備は大きく2つあります。

1. 苗を育てること

2. 田んぼの補修、水路の掃除・補修を行うこと

苗はJAなどから直接購入する人もいますが、水田オーナーズクラブの生産者さんは皆、種モミから自分たちで育てます。その過程で温湯消毒といって薬を使わずにお湯で消毒をしてから芽が出るように管理します。芽が出たら苗箱に移してビニールハウスで10-12cmになるまで育てます。

同時に田んぼの補修をして約半年、田んぼが崩れることがないようにしてから水を入れてドロドロになるまで水と土をかき混ぜ（代掻き）草を粉々にし、ようやく田植えとなります。

## 準備から田植えまで



1. 苗の温湯消毒



2. 育苗



3. 畔塗りの作業



4. 畔塗り完了



5. 代掻き



6. 田植え